京都外国語短期大学　入学式　学長式辞（邦文）
平成２５年４月１日　中ホール（R741）

新入生ならびに保護者の皆様、森田嘉一理事長・総長、ご来賓の各位、そして本日お集りくださいました皆様方、京都外国語短期大学の教職員を代表しまして、歓迎とお祝いの言葉を述べさせていただきます。そして、数ある大学の中から京都外国語短期大学を選んでくださいましたことに対して、深く感謝申し上げます。

本学が京都外国語学校として創立されましたのは、多数の死者と荒廃をもたらした第二次世界大戦後間もない 1947 年 5 月であります。未来が不確かで混乱した中、本学は「PAX MUNDI PER LINGUAS（言語を通して世界の平和を）」を建学の精神として掲げ、歩みだしました。

本学の建学の精神は、戦争は二度と起こしてはいけないという創立者の強い決意と心からの願いを表しています。世界の人々を、兄弟愛で一つに結びつける手立てを不断に追求していけば、コミュニケーションを通して国際的な理解が得られることでしょう。

創立者は、「本学は、単に外国語を教えるだけでなく、世界の人々の精神や価値観に至るまでを教えられる大学を目指したい」と熱を込めて語られました。

本学は、高度な外国語運用能力と人類の多様性を尊重する精神、世界平和に貢献するという強い意志を持った国際的な人材を育成することに全力を注いできました。喜ばしいことに、本学園は昨年創立６５周年を迎えました。グローバルな舞台で卒業生がさらに活躍できますようにとの、森田理事長・総長の熱い期待と信念のもと、本学の学問・教育の分野は年々充実し、発展し続けております。

学生の皆様には、本学で高度な外国語運用能力と幅広い教養を身につけ、自らが希望する仕事に就かれるとともに、国際社会において積極的に貢献しうる人材に成長されることが期待されております。このことを念頭に置き、私たちは今、キャンパスの環境改善プロジェクトを推進しております。授業で身につけた高度な語学運用力を、日常のキャンパス生活を通して実践できる環境をつくりたいと思っています。

普段の授業に加え、ナショナル・ウィーク、特別講義やクラブ・サークル活動など、このキャンパスの中で外国の雰囲気を体験できる様々な機会を積極的に利用してほしいと思います。

学生の皆様もご存知のとおり、私たち日本国民の生活は、いかに外国の人々とコミュニケーションを図るかにかかっております。グローバル化の世界で生

き抜くには、穏やかな心で周囲の人々と協調し、自分の考えを正しく論理的に外国語で伝えることが必要不可欠です。本学の学生の皆様には、このような人間力を身につけることをめざしていただきたいと思っております。なぜならば、それによって建学の精神を実践することになり、ひいては世界の平和と国際安全保障のシステムの強化にもつながると信じているからです。

新入生の皆様、この２年間の学生生活を通して、しっかりと勉学に励んでください。そして、あらゆる学習の原点は好奇心にあるということを忘れないでください。その好奇心が一つのテーマに絞られてゆき、さらにはそのテーマについてもっと深く知りたいと努力していく過程で、私たちの心は次第に豊かになっていきます。このようにして、私たちの世界市民としての人生はより意味のあるものになっていきます。

我々教職員は一丸となり、学生の皆様が国際社会において一翼を担う立派な人材となれるよう尽力いたします。そして皆様が、ここ京都という地で、価値ある学生生活を過ごし、京都外国語短期大学に入学されたことを誇りに思っていただけるよう、最大限の努力をさせていただくことをお約束いたします。

学生の皆様には、外国語を使って世界に大きく貢献するという意欲を持ってもらいたいという思いから、学長として、本日は英語でのスピーチとさせていただきました。本学でのこれからの２年間が皆様にとって実り多いものとなりますよう心よりお祈りいたします。

ご清聴ありがとうございました。

学長　松　田　　武